



質疑あれこれ

9月定例会

質疑あれこれ

討議

一般質問

追跡

平成30年度一般会計決算

〈総務費〉

- Q 自動走行実証実験の評価は。
- A 参加者8割の方から高評価を得ている。
- Q ふるさと寄付金事業の収支は。
- A ふるさと寄付金事業での歳入は1426万円で、歳出は707万円であった。一方で町民税の寄付金控除額は1890万円であった。
- Q 防犯カメラの設置台数と今後の予定は。
- A 平成26年度より防犯カメラ設置計画に基づき、今年度までに町内17カ所33台を設置している。主要な公共施設にはひと通り設置し、計画は今年度で終了となる。
- Q 高齢者運転免許証自主返納支援事業の課題は。
- A 事業の利用者を増やすため、さらなるPRを行っていく必要がある。

〈民生費〉

- Q 放課後児童クラブの指導者が不足しているのでは。
- A 児童40人に対し、指導者2人と1つの基準を満たしている。
- Q 放課後児童クラブの登録者数が超過しているのでは。
- A 平均利用者は64名であり定数の範囲内である。

〈衛生費〉

- Q 防疫用薬剤の効果と安全性はどうか。
- A 殺虫剤のような即効性はない。急性毒性が弱く安全性は高い。
- Q 環境フェスティバル参加者数の増加要因は。
- A 参加型ブースや飲食の提供が、参加人数の増加につながった。

〈農林水産業費〉

- Q 町民農園の利用者数は。
- A 平成30年度は青山農園1カ所のみで利用者は15名であるが、新たに神明農園を整備した。

〈土木費〉

- Q ブロック塀撤去補助の件数は。
- A 問い合わせは多数あったが、補助は3件であった。

〈消防費〉

- Q 2000人を超える参加者があつた、消防出初式の評価は。
 - A 全国で初めて空港エプロン内で様々な関係団体と連携をし、盛大に開催することができた。空港のまち豊山町と豊山町消防団を広くPRすることができ、今までになく消防出初式になった。
- また、自衛隊など防災関係団体との連携について、災害時にはもち

ろん、普段から顔の見える関係を構築しておくことが大切であると感じた。

〈教育費〉

- Q 教育施設整備計画の策定状況は。
 - A 学校施設の現状分析や課題の整理、今後の学校施設のあり方や改修方法を検討してきた。
- 現在、この結果をもとに学校施設改築、長寿命化計画の策定に向けた取りまとめ作業を進めている。

- Q 小中学校の授業でのタブレット活用方法、感想は。
- A 理科の実験や体育で動画や写真を活用したり、インターネットで調べ学習をしたりしている。児童・生徒からは「授業が楽しい」、教員からは「自分の持っている機器と操作は同じなので、スムーズに使用することができた」との感想があった。

平成30年度特別会計決算

〈国民健康保険〉

- Q 保険者努力支援の県支出金を増やすためには。
- A 重症化予防事業への取り組みを目指し点数を上げる努力をする。

〈介護保険〉

- Q 認知症総合支援事業の評価や課題は。
- A 受診や介護サービスの利用を開始することができた方がいる。初期集中支援チームで介入できたこともあるが、周知不足で、当初の目標に達していない。早期介入を目指していきたい。

〈公共下水道事業〉

- Q 管路清掃委託料の内容は。
- A 管路の詰まりにより清掃を2件実施した。

令和元年度一般会計補正予算

〈歳入〉

- Q 保育園の副食費4500円の根拠は。
- A これまでの実績に基づき設定した。

